

# 総務グループのアップ UP 通信 6月号 Vol.92

2019/5/24

ついに令和時代の幕が開けました！各地で新天皇のご即位を祝うだんじりや神輿が出るなど、奉祝行事でにぎわい、世界中に報道されましたね。天皇は英語でエンペラーと訳されています。厳密に言うと、様々な意見がありますが、現在、世界でエンペラーと呼ばれる人は日本の天皇陛下だけです。また、日本の天皇や皇族の総称は「皇室」ですが、英国などでは「王室」と呼ばれます。王室にはエンペラーはいませんが、キングやクイーンがいます。さて、「皇室」と「王室」どう違うのでしょうか。



## 「皇室」が和風で「王室」が洋風ってこと？

**いいえ、違います！**「エンペラー」の語源は古代ローマ帝国時代の称号「インペラートル」です。初代のローマ皇帝はアウグストゥス。他にもユリウス・カエサルなどが「エンペラー」と呼ばれました。後世ドイツでは、カエサルの名前に由来する「カイザー」が皇帝を意味し、ドイツ最後の皇帝ヴェルヘルムⅡ世は第一次世界大戦 1918 年まで在位していました。古代ローマ帝国の歴史に幕を引いた軍団長オドアケルは、自ら帝位に着かず勝手に「レックス(王・キング)」と名乗ったそうです。(ちなみに「レックス」はロイヤルという言葉の語源。)日本の天皇は、昔は「大王(おおきみ)」「帝(みかど)」「内裏(だいら)」などと呼ばれていました。

ドイツの「カイゼル髭」もカエサルが起源です！



## 日本の天皇のルーツは神話にある。

日本の初代天皇は神武天皇ですね。その神武天皇は天照大神の子孫と言われ、天照大神は伊勢神宮に祀られている神様です。いわば「神様の子孫」なのです。神話や王室がある国は世界中にあります。神話が現在の王室(皇室)につながっているのは日本だけ。ギリシャ神話に出てくるゼウス(神)の子孫が、今でもギリシャの王(君主)になっているようなものです。

対して王室は、勿論「人」の子孫。「キング」には血族という意味が内在されているものの、血縁に関係なく戦う事によって勝ち取られた地位です。戦争で勝った王の息子や娘が王の死後その地位を継ぐことがあっても、長く続くことは無く、血統どころか異国人との結婚も繰り返しています。そのため、英語が話せないイギリス王もいたそうです。その「血統」の違いから、現在は日本の天皇だけがキングより格上のエンペラーと呼ばれているという説もあります。ちなみに、日本の血統的系譜(血統を守る)は天皇家だけでなく、歌舞伎や茶道等にもありますね。他の国にはこの「尊血主義」はないそうで、日本人の思考の原点とも言われています。

## 世界で一番歴史の長い王室(皇室) TOP10!

- 1.日本：紀元前 660 年
- 2.デンマーク：王家の始まりは 7、8 世紀とも 10 世紀とも言われています。
- 3.英国：11 世紀にフランスからノルマンディー公が上陸しました。
- 4.スペイン 5.スウェーデン 6.タイ 7.バーレーン 8.オランダ
- 9.ベルギー 10.トンガ



## 北欧の王国

スウェーデン、ノルウェー、デンマークには王室があります。デンマークのコペンハーゲンの北の海に面したクロンボー城はシェイクスピアの「ハムレット」の舞台となったというお城ですね。また、北欧のそれぞれには、スウェーデンクローナ、ノルウェークローネ、デンマーククローネと、独自の通貨があります。共和国のフィンランドはユーロを使っています。各国の独自通貨と王国はなにか関係があるのでしょうか…素朴な疑問??



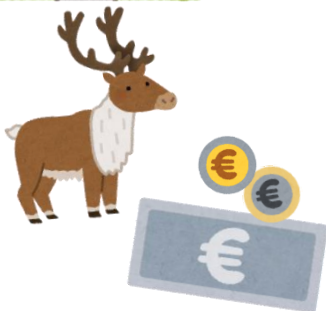
## 大統領と首相

君主国には首相がいて、たいていは国会で選ばれます。(日本やイギリス)  
共和制の国は選挙で選ばれた大統領が国家元首になります。強大な力を持つ例が多いです。(アメリカやロシア)  
日本には大統領はいませんが首相がいて、アメリカは大統領がいますが首相はいません。ドイツには両方います。



## 共和国の場合は？

共和国とは君主が存在しない共和制の国家で、第一次世界大戦と第二次世界大戦では多くの君主国が崩壊し、多数の共和国が誕生しました。最古の歴史を持つ共和国はサン・マリノ。世界で5番目に小さい共和国でもあります。最も小さい共和国はバチカン市国で、ディズニーランドよりも小さいそうです。バチカンはイタリア・ローマにあり、入出国のための検問所がなくイタリアとの入出国は原則的に自由ですが、イタリアではありません。一つの独立国で国土全域が世界遺産に登録されています。





## 今月のお題

## 昭和 100 年問題や、改元に乗じた詐欺にご注意

令和の改元は、システム関係の大きなトラブルもなく何とか乗り越えたといえそうですが、6年後の2025年に大きな問題が起きるかもしれません。昭和の時代に導入したコンピュータシステムが、「年」の処理を正常に扱うことができず、2025年に誤作動を引き起こすのではないかと話題となっています。また改元に乗じた詐欺が表面化してきており、対策が必要となってきています。

### 昭和 100 年問題を知っていますか？

官公庁や金融機関などを中心に、ソフト内部で年を昭和 2 桁で表現しているシステムが存在していて、平成以降も内部的に昭和として扱っています。これは日本の公文書においては年を記載する際、全てにおいて西暦でなく昭和を用いることにより同じ 2 桁でも 25 年先まで表現できるという利点があったためです。

当時はこういったメモリの節約が重要事項だったのです。

しかし、「昭和 100 年（2025 年）＝昭和 0 年」として認識されることで正しく扱うことができず、誤動作を起こす恐れがあります。

これによく似た事象が「2000 年問題」です。日付を扱う際に西暦の下 2 桁のみを処理対象とした為に 2000 年に入った瞬間コンピュータが誤作動を起こすといわれ、電気ガスなどの社会インフラのトラブルに備え、多くのエンジニアが大みそかと正月を返上して現場に泊まり込み、政府はピーク時 2000 人を動員して危機管理体制を敷くといった騒動となりました。

これらのシステムトラブルに対しては、私たちが何かするというよりは、システムを運用する企業にただただ期待するしかなさそうです。そういう意味では、トラブルが起きるといわれるタイミングでは「IT システムが関連する作業に関して不要不急の処理を避ける」という対応しかできなさそうです。



### 「人」の脆弱性に注意を

改元に関する詐欺事件も表面化しつつあります。手口としては、銀行、郵便局のキャッシュカードが「新元号に伴い利用ができなくなる」等とだまし、暗証番号とカードそのものを切り替えと称して奪うというものです。狙われるのはやはり高齢者で、元号変更は初めてではないでしょうが「IT システムが発達して初めての元号変更」なのが攻撃のきっかけになっているようです。

これに関しては、やはり IT リテラシーを付けていただくしかありません。しかし、ほとんどの高齢者は IT に拒否反応を持っているはずで、なかなか進んで学ぶことはないと思います。反面、高齢者の中にも、スマートフォンを活用していて、孫の顔を見るためにテレビ電話を活用したり、音声入力でメールを書いたり、調べ物をしていたり、決して IT 弱者ではない人もいます。

そのため、ぜひ皆さんも実家に帰ったときに、お金と家族を守るためにほんの少しだけ IT の話をしてみてください。どんなに精神的に強い方でも、だまされたことが分かったらへこみます。それがきっかけで病気になってしまうかもしれません。それは高齢者だけの問題ではなく、全体の問題なのかもしれません。

改元をきっかけにして脆弱性を突くサイバー攻撃はあまり想定できませんが、人の脆弱性を突く「詐欺」はこれからが本番だと思います。改元だけでなく、新札発行、芸能人のスキャンダル、センセーショナルな事故が詐欺被害のきっかけにならぬよう、家族で話し合うことをお勧めします。